

イベント案内

第39回日本ロボット学会学術講演会 オープンフォーラム
合業 - ロボットと人間が助け合う未来の生産システムを目指して (第二回)

一般財団法人 製造科学技術センター (MSTC)
 MSTC メガ労働生産性システム研究会¹
 RSJ 複雑高精度機械の組立技術研究専門委員会

MSTC は下記のとおり、第39回日本ロボット学会学術講演会において、「合業 - ロボットと人間が助け合う未来の生産システムを目指して(第二回)」と題してオープンフォーラムを開催いたします。これからの日本のものづくりについての斬新な考え方を紹介するものであり、是非、皆さまからの忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。注:合業=「ごうぎょう」と読む。提案する新たな協働形態。

記

日時、場所、番号、セッション名

2021年9月8日(水) 13:00~15:00 ウェブ開催(Zoom) B室
 第39回RSJ学術講演会オープンフォーラム:<https://ac.rsj-web.org/2021/openforum.html>
 OF5 合業 - ロボットと人間が助け合う未来の生産システムを目指して(第二回)

概要

現在、ロボットが導入されている分野は自動車や電子産業が中心であり、その形態は人の作業の一部分を切とって任せる「分業」である。新しい未来の生産システムの形態として、相互干渉を伴う人とロボットの合わせ技(人の動きに合わせて、人とロボットが力を合わせて同時に作業を行う形態)により高い生産性が発揮される「合業」およびその実現のためのキーコンセプトとして「人間行動駆動」と「動作リテラシー」を提案する。「合業」により製造業やサービス分野を含む未導入分野へのロボットの導入が進み、適用範囲が大きく広がり、我が国経済・社会の生産性を飛躍的に高めることができる。

OFセッション詳細

13:00-13:10	【I】イントロダクション	阿部 聡、牛丸 茂雄(MSTC)
13:10-13:20	【II】第一回の概要	堀江 和男(MSTC)
13:20-14:30	【III】合業紹介	
	【III-1】人とロボットの協働の最新動向 堀江(MSTC)	
	IFRのResponsive Collaboration、合業の位置づけ等	
	【III-2】人とロボットの協働の難しさ	杉 正夫(電気通信大学)
	人とロボットの意思疎通(息を合わせる)ための手法等	
	【III-3】合業、人間行動駆動、動作リテラシー	大隅 久(中央大学)
	分業できない作業とその解決策等	
	【III-4】合業シナリオ;息を合わせて物を運ぶ	林 浩一郎(IHI)
	合業を単純化するとどのようなシナリオになるか等	
	【III-5】合業のニーズ紹介	川平 浩司(MSTC)
	合業の適用が期待される作業事例と利用者の期待等	
	【III-6】人、ロボットの進化	村上 弘記(日本ロボット学会)
	今後どのような方向にロボットは進化するのか等	
	【III-7】合業への期待	平井 成興(NEDO)
	今までのロボットでできなかったこと等	
14:30-14:40	【IV】質疑、参加者との意見交換	川平 浩司(MSTC)
14:40-14:45	【V】まとめ	堀江 和男(MSTC)

問合せ先

MSTC ロボット技術推進室 電話 03-3500-4891 川平 kawahira.koji@mstc.or.jp 堀江 horie@mstc.or.jp

¹ メガ労働生産性システム研究会メンバー

経済産業省、NEDO、産総研、中央大学、筑波大学、電気通信大学、(株)IHI、川崎重工業(株)、(株)東芝、(株)日立製作所、三菱電機(株)、MSTC